

■式亭三馬 戯作者。洒落本・滑稽本作者。「浮世風呂」「浮世床」だけでなく、化粧品・売薬もヒットさせるなど商才抜群。

しきていさんば

両月物語刊・1776＝ 江戸浅草田原町で、家主菊地茂兵衛の長男に生まれる。母は不明。幼名とらの助。

父は代々八丈島の為朝大明神の祠官つとめる菊地家の長男に生まれるも、妾腹だったためか家系継がずに、江戸に出て板木師として修業、独立して(晴雲堂)を名乗り、家主におさまった。

・・・・・・1781＝ 5歳：弟平八が誕生。

意刺殺事件1784＝ 8歳：父が板木師であったことや、伯母の影響を受けて、幼くして戯作に親しむようになり、書肆(堀野屋)に奉公、

蝦夷初調査・1785＝ 9歳：

田沼意次失脚1786＝10歳：

{堀野屋}に養われながら、戯作の修業を積み、

ワタシ来日・1792＝16歳：{堀野屋}の代替わりもあつたか、独立し、

松平定信引退1793＝17歳：早速執筆を開始し、

オランダ正月・1794＝18歳：処女作の黄表紙「天道浮世出操操」、続けて「人間一心視替操」を刊行。

写楽・・・1795＝19歳：*「碁本平記白石断」で、板木師西宮新六と組んで黄表紙作者と遇され、以後、作者と版元の関係となる。

ブロード来航・1796＝20歳：この頃、書肆{万屋}に駕入り、かねて私淑する山東京伝宅にも近くなって発奮、

昌平饗始・・・1797＝21歳：黄表紙「芝全交夢寓書」刊行、

古事記伝・・・1798＝22歳：洒落本初作「辰巳婦言」刊行、進境著しいが、

蝦夷地直轄始1799＝23歳：洒落本「傾城買談客物語」、黄表紙「俠本平記向鉢巻」の作により、火消人足と争い、処罰される。

伊能測量始・1800＝24歳：この頃には、妻が病死、

宣長没・・・1801＝25歳：歌川豊国画「俳優画図三階興」黄表紙「日本一痴鑑」刊、

一九膝栗毛始1802＝26歳：黄表紙「稗史偉説年代記」。洒落本禁止令が出されて、洒落本の著作ができなくなると、滑稽本を試み、

アメリカ船来航始1803＝27歳：*初めて板木師の父と組むとともに、弟を売り出すことも意図した「戯場訓蒙図彙」を刊行、以後度々親子コンビを組む。「狂歌*」(初編)刊。流行の麻疹に罹り、治るや「麻疹戯言」刊行。

いざ乃来航・1804＝28歳：再び発病。廃業した{堀野屋}一家の面倒をみることもあって、書肆{万屋}を出るなど、心労絶えぬなか、

青洲麻酔手術1805＝29歳：「親警誇膏葉」「勸訓歌字尽」など、洒落、滑稽の黄表紙の正統を守ろうとするも、時流に抗しきれず、

いざ乃報復・1806＝30歳：類焼で蔵書が灰燼に帰し、佐原逗留。敵討物「雷太郎強悪物語」を、西宮新六との発明による合巻形式で発表し、大ヒット。滑稽本処女作「戯場粋言幕之外」「酩酊気質」発表。以後、滑稽本の作者として活躍。

おつ船狼藉・1807＝31歳：西宮新六との関係から、西宮太助と名乗り、以後通称とする。この頃、{堀野屋}の妹と再婚したらしく、

浮世風呂・・・1809＝33歳：*「浮世風呂」を発表、以後、泰平が続いて現実世界には題材が乏しいながら、著作に集中、

・・・・・・1810＝34歳

ゴロツン拿捕 1811＝35歳

高田屋拿捕・1812＝36歳：滑稽本「客者評判記」。可愛がってきた弟が死去。父が高齢になったためか、親子コンビが終わる。

浮世床・・・1813＝37歳：「人間万事虚誕計」「田舎芝居忠臣蔵」。酒癖もの滑稽本「一盃綺言」。「浮世床」発表し、書き継いで行く。

黒住教・・・1814＝38歳：「素人狂言紋切形」、際物景物本「菊の葉」。滑稽本「古今百馬鹿」「人心覗からくり」、

・・・・・・1815＝39歳：「落話会刷画帖」を編む。

伊能測量終・1816＝40歳：合巻「合鏡女風俗」。唯一の読本「阿古義物語」は不評、

杉田玄白没・1817＝41歳：滑稽本「大千世界楽屋探」、合巻「五色潮来艶合奏」、

水野忠成老中1818＝42歳：「四十八癖」終る。

十返舎一九に対抗してか、生涯を旅嫌いで通し、

伊能図完成・1821＝45歳：「茶番狂言早合点」を編む。*病床にあってもなお、創作し、「浮世床」を書き継ぎ続けるうち、

英船浦賀来航1822＝46歳：没した。